

栃木県女性校長教頭会だより

栃木県女性校長教頭会会長 増田 眞千子



本会は、小・中学校の女性校長教頭で組織されています。今年度の会員数は、校長一〇七名、教頭二〇一名の三〇八名です。

昭和二十四年に二人の女性校長が誕生して以来、約二十二年間は五名以下でした。

中学校の女性校長が誕生したのは平成五年、女性の校長が一〇〇名を超えたのは平成十年になってからのことです。今後とも会員相互の連携と資質の向上を図っていかねばならないと思います。

主な研修として、五月に

析の葉

「とちぎの子どもたちへの教え」

栃木県教育委員会

学校教育課

県教育委員会では、昨年度「教える道徳教育」指導資料「とちぎの子どもたちへの教え」人として、

本資料には、学習指導要領に示された各学年段階で配慮すべき重点を踏まえ、学校や社会で生活する上で、ぜひ身に付けてほしい事項を、各学年段階ごとに五つずつ示してあります。

一人一人の先生方が、本資料の趣旨を理解し、日常的な生活場面等を含むあらゆる教育活動の中で、「教えるべきこと」はしっかりと

平成二十四年度関ブロック校長会・理事会だより

副会長 村上 雅之

五月七日(月)埼玉県さいたま市、「プリランテ武蔵野」で、平成二十四年度第一回理事大会が開催されました。

○会長あいさつ
○全連小会長あいさつ
青森県から千葉県まで東日本大震災で大きな被害のあった5県に総額で9千万円の支援を行った。

○情報交換
・東日本大震災関連の話では、全連小と岩手県、宮城県、仙台市、福島県の校長会と震災対策特別委員会が連絡会を行ったこと、茨城県、千葉県が教訓をまとめた冊子を作成して配布したことが報告された。

○協議
・平成二十三年度会務報告、会計報告
・平成二十四年度役員選出
・平成二十四年度事業計画案、予算案

・群馬県の研究協議会での「資質能力」の用語について中教審の表記に統一する。

「全国連合小学校長会

第六十四回総会から」

栃木県小学校長会長

高梨 敏朗

五月二十五日、東京虎ノ門二ツシヨールホールにて、全国の理事・代議員等約六百名が集い、第六十四回全連小総会が開催されました。冒頭、露木晶仙会長(東京都台東区立台東育英小学校)から「経営力を高め合い、信頼される学校づくり」に努めていきたい」との考

えが示されました。議事では、「学校経営の充実」「研究活動の充実」等、五つの活動方針が提案されるとともに、各部の活動方針も承認されました。

研修会では、布村初中等教育局長から今年度の諸施策と当面する初等教育の諸問題の全般的な講演があり、続けて教育課程課長や財務課長などから具体的な行政説明がありました。

最後に、来賓の文部科学大臣平野博文様よりご挨拶をいただきました。閉会しました。